



平成 28 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F F R I
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鵜 飼 裕 司
(コード番号：3692 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 最 高 財 務 責 任 者 田 中 重 樹
(TEL. 03-6277-1518)

個人・SOHO向けセキュリティソフト「FFRI プロアクティブ セキュリティ」の 東日本電信電話株式会社による取扱い開始に関するお知らせ

当社が販売する個人・SOHO向けセキュリティソフト「FFRI プロアクティブ セキュリティ（製品愛称：Mr.F）」（ダウンロード1年版）を、東日本電信電話株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：山村 雅之、以下：NTT東日本）が販売取次を開始することについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 理由

近年の急激に増え続けるマルウェア※1による攻撃に対しては、従来のパターンマッチング型のアンチウイルスソフトだけでは対抗することが難しくなっています。最近では、悪意の第三者により日々膨大な数のマルウェアが作りだされており、アンチウイルスソフトは、パターンファイルの作成及び配信が追い付いていない状況です。さらに、高度なサイバー攻撃に使用されるマルウェアは、アンチウイルスソフトでは検知されない（パターンファイルに登録されていない）未知のマルウェアが使用されているという現実もあります。

「FFRI プロアクティブ セキュリティ」は、パターンマッチング技術※2ではなく、独自のプログレッシブ・ヒューリスティック技術※3により、未知のサイバー脅威に対抗する個人・SOHO向けセキュリティソフトです。

「FFRI プロアクティブ セキュリティ」ダウンロード1年版は『FFRIオンライン・ショップ』（http://www.ffri.jp/online_shop/index.htm）（2015年4月～）、Vector PC Shop（2015年9月～）、楽天ダウンロード（2015年10月～）で販売を行ってきましたが、このたびNTT東日本での販売を開始いたします。NTT東日本での販売を通して、より多くのお客様が安心・安全にインターネットをご利用いただけるよう取り組んでまいります。

- ※1 コンピュータ・ウイルス、スパイウェアなど、悪意のある目的を持ったソフトウェアやプログラムのこと。
- ※2 検査対象のプログラムと、パターンファイル（マルウェアのデータベース）をマッチングしてマルウェアを検知・防御する仕組み。パターンファイルを保持していなければ検知することができないため、新種や改造されたマルウェアは検知・防御することができません。
- ※3 パターンファイルに全く依存せず、マルウェアの構造や振る舞いを見て、マルウェアに特徴的な「悪意」を分析することにより検知・防御する技術。パターンマッチング技術では防御が難しい新種や改造されたマルウェアであっても、マルウェアに共通する「悪意」を検知して防御することが可能。

2. 今後の見通し

本件による当社の平成28年3月期業績に与える影響は軽微の見込みです。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上